

2016年3月期第2四半期決算
説明資料

2015年12月3日

株式会社やまびこ

1 . 2016年3月期第2四半期	
決算概要	2
2 . 2016年3月期	
業績見通し	10
3 . 中期経営計画2017	
主力市場における取り組み	14
4 . 添付資料	
会社概要	16

1. 2016年3月期第2四半期 決算概要

総括：国内は排ガス規制前の乗用型防除機の駆け込み需要などで伸長。
 海外は、OPEは主力の北米が景気拡大や天候に恵まれたことにより好調に推移したものの、ロシアの低迷に加え、欧州が熱波の影響などにより伸び悩んだ。

セグメント概況

市場	セグメント (分野)	動 向	概況
国内	小型屋外作業機械	初夏の天候が比較的順調に推移し、OEM販売やホームセンタールートで刈払機が好調だったほか、パワーブロウも堅調。	
	農業用管理機械	農業機械出荷実績は4-9月累計出荷額、前年比 2.6%の減少(日本農業機械工業会統計)。9月適用の排ガス規制を睨んだ乗用型防除機の更新需要が継続。	
	一般産業用機械	国内建設機械出荷額は9月に6ヶ月ぶりに前年比 2.5%の減少に転じた(日本建設機械工業会)。資材費の高騰や人材不足の影響などで公共投資の入札不調が継続。	
海外	小型屋外作業機械	北米市場：雇用者数や住宅着工数が対前年比プラスで推移するなど、景気拡大が継続。春以降の天候が順調で主力製品の販売数量が伸びた。	
		中南米市場：長引く政治・経済問題により落ち込みが続く。	
		欧州市場：前年同四半期から続くロシア市場は低迷。西欧主要国が記録的な熱波の影響により主に刈払機が伸び悩んだ。	
	農業用管理機械	北米市場：穀物価格の低迷が長引き、大型収穫機が減少。	

2016年3月期第2四半期経営成績



(百万円)

	15/3期 2Q		16/3期 2Q		前期比(%)
		構成比(%)		構成比(%)	
売上高	55,209	100.0	60,344	100.0	+ 9.3
売上原価	38,654	70.0	43,310	71.8	+ 12.0
販管費	12,580	22.8	13,155	21.8	+ 4.6
営業利益	3,974	7.2	3,878	6.4	2.4
経常利益	4,298	7.8	4,082	6.8	5.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,969	5.4	3,194	5.3	+ 7.6

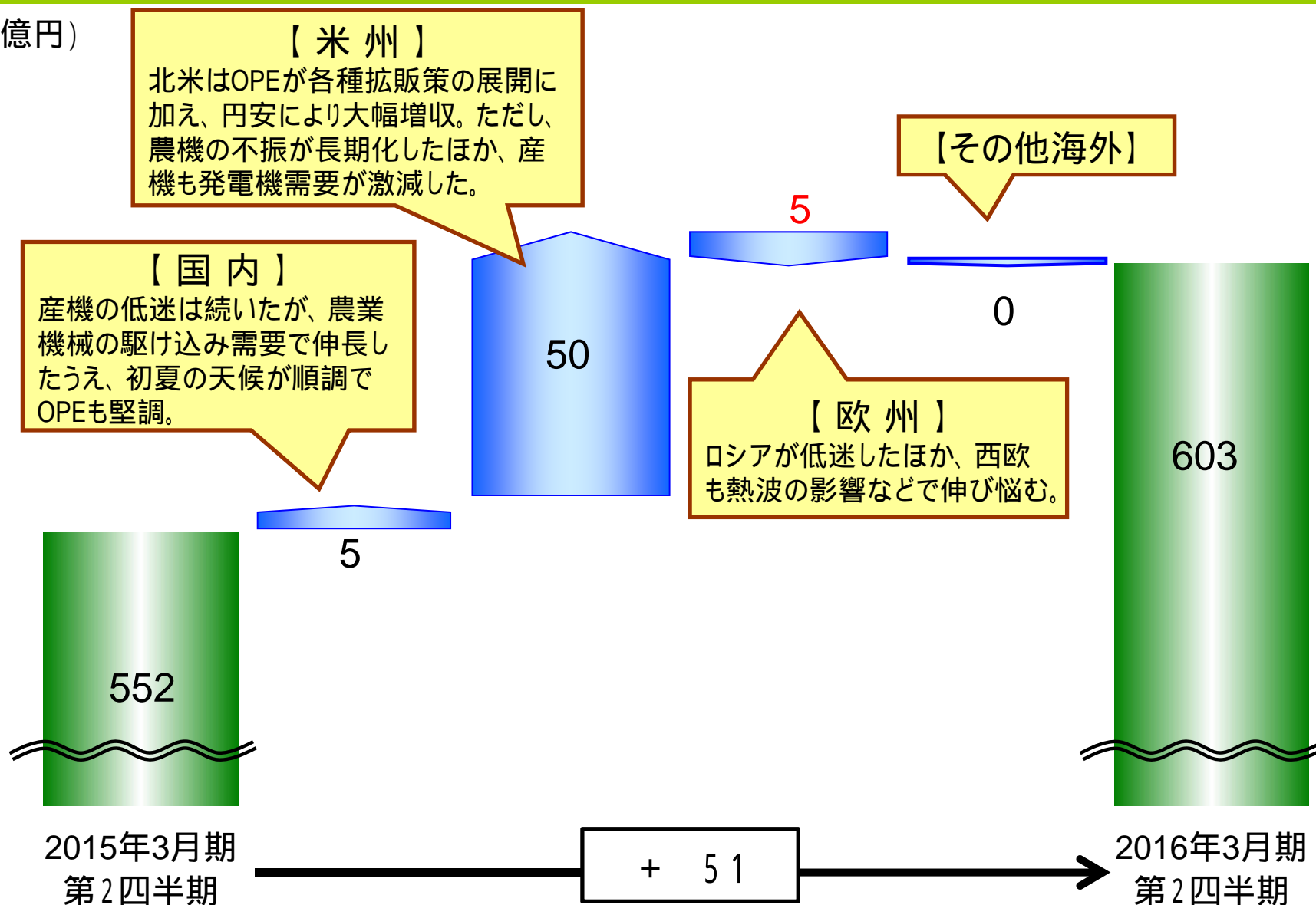
為替レート 期初の想定為替レートは1ドル115円、1ユーロ130円。

1ドル	当社レート	102 円	122 円
	米国子会社 換算レート	102 円	120 円
1ユーロ		139 円	135 円

- ✓ 売上高は、主力の国内、北米でOPEが販売数量を伸ばし、加えて円安の影響により増収。
- ✓ 損益面は、円安の影響による押し上げがあったものの、未実現利益の増加や原価率の上昇が下押し要因となった。ただし、法人税等調整額の減少などにより、最終利益は増益。

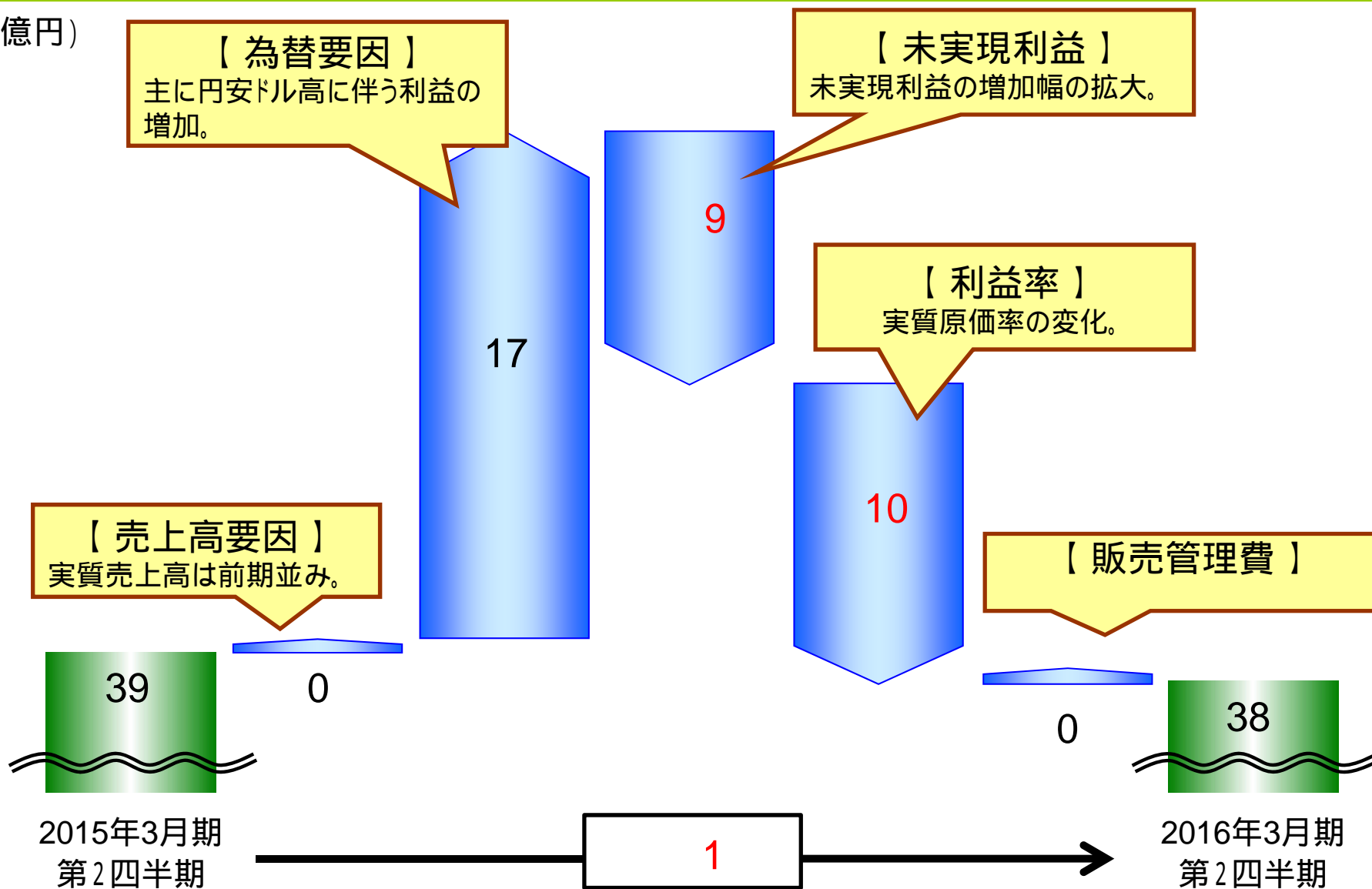
連結売上高の増減

(億円)



連結営業利益の増減

(億円)



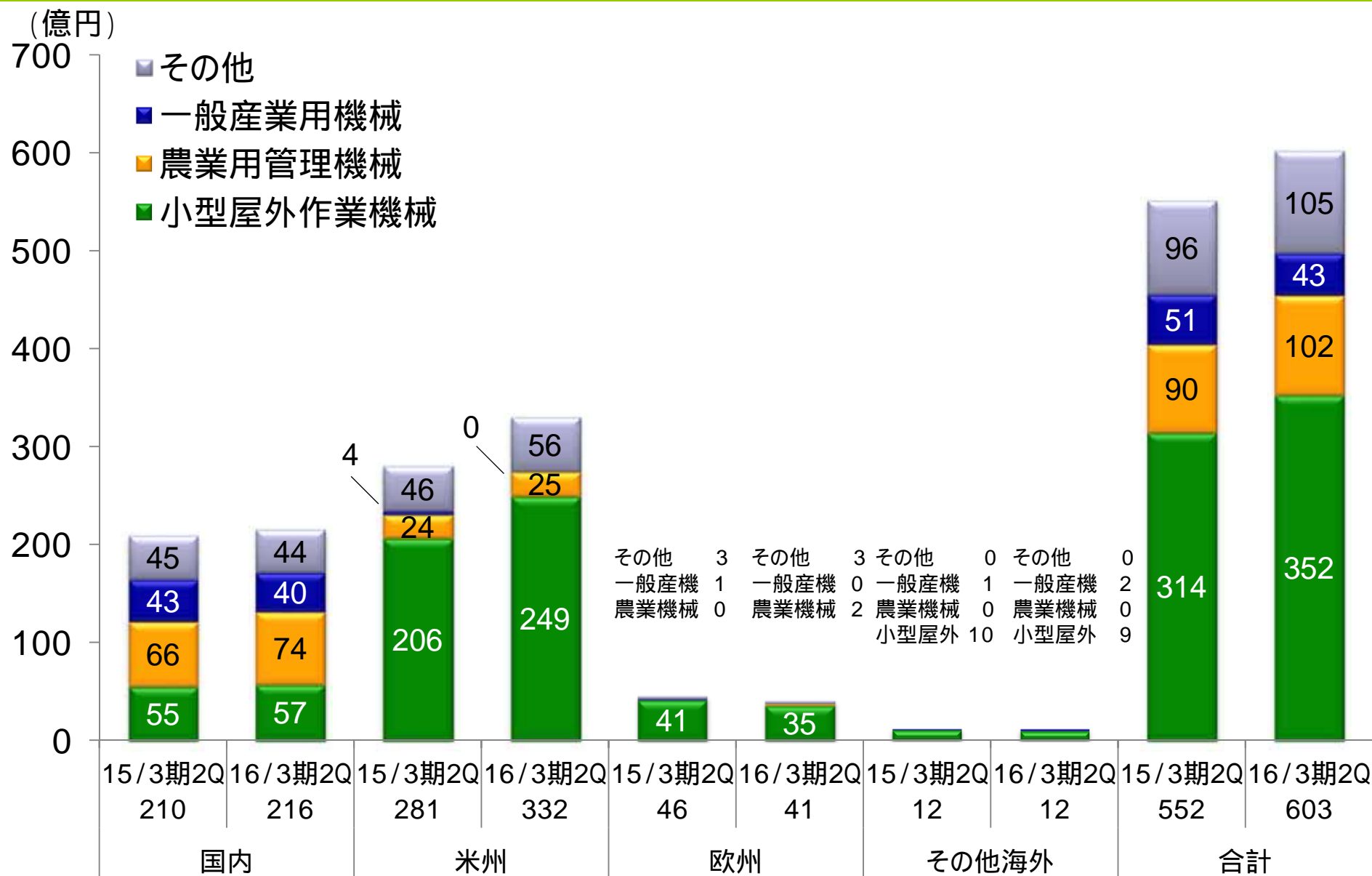
セグメント別経営成績



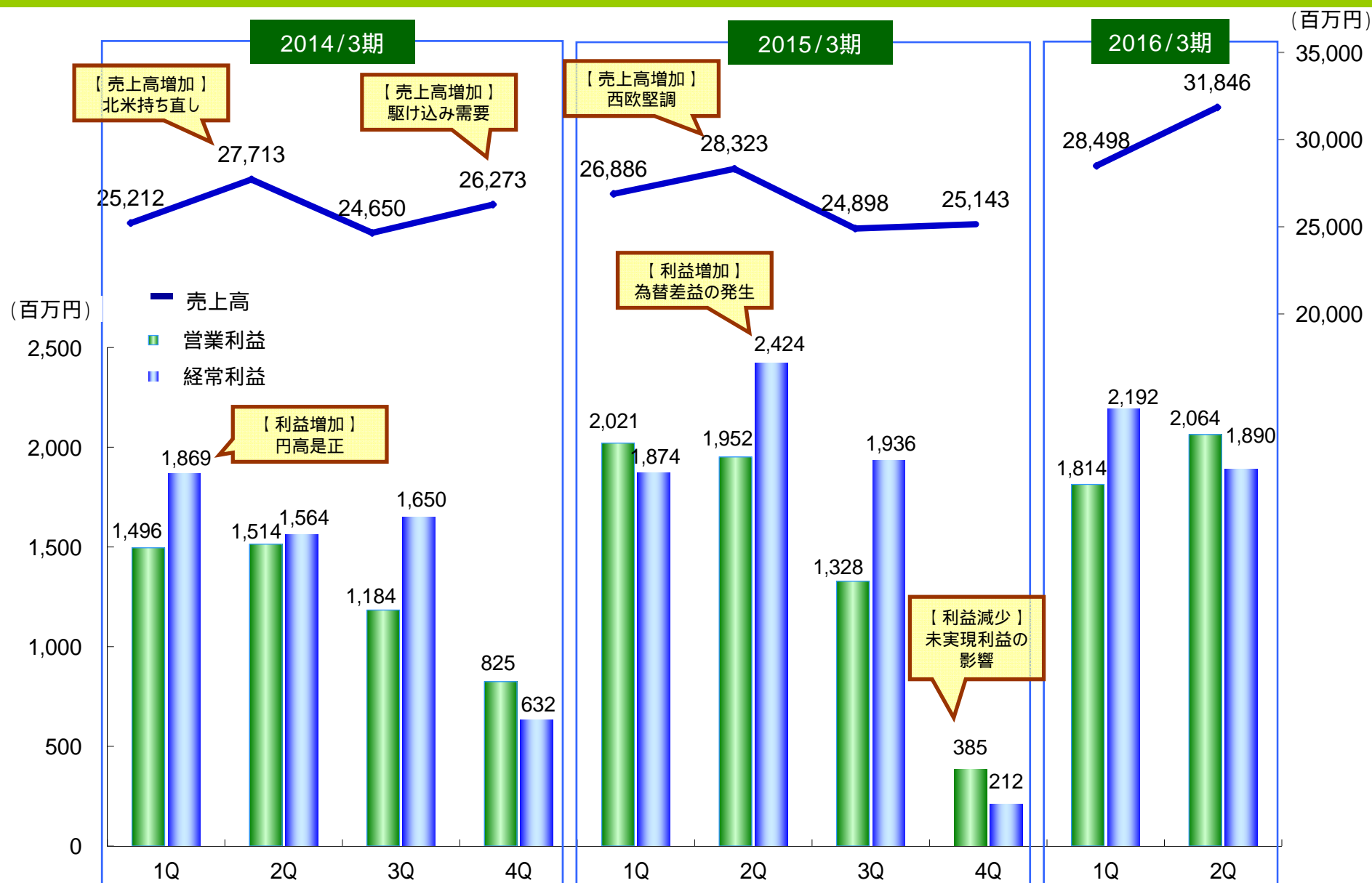
(百万円)

	15/3期 2Q		16/3期 2Q		前年同期比
		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)
売上高	55,209	100.0	60,344	100.0	+ 9.3
小型屋外作業機械	31,419	56.9	35,256	58.4	+ 12.2
農業用管理機械	9,028	16.4	10,221	16.9	+ 13.2
一般産業用機械	5,133	9.3	4,322	7.2	15.8
その他	9,628	17.4	10,544	17.5	+ 9.5
営業利益	3,974	100.0	3,878	100.0	2.4
小型屋外作業機械 ・農業用管理機械	2,540	63.9	2,327	60.0	8.4
一般産業用機械	140	3.5	420	10.8	-
その他	4,057	102.1	4,551	117.3	+ 12.2
全社共通費	2,483	-	2,580	-	-

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2016年3月期 業績見通し

2016年3月期(通期) 予想



(百万円)

	15/3期 実績		16/3期 修正予想		前期比(%)	16/3期 期初予想
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	105,251	100.0	113,000	100.0	+ 7.4	115,000
売上原価	74,846	71.1	80,400	71.2	+ 7.4	81,000
販管費	24,717	23.5	26,200	23.2	+ 6.0	27,500
営業利益	5,688	5.4	6,400	5.7	+ 12.5	6,500
経常利益	6,447	6.1	6,700	5.9	+ 3.9	6,400
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,910	4.7	4,900	4.3	0.2	4,700

為替レート 今後の為替レートは1ドル120円、1ユーロ130円の想定を変更せず

1ドル	当社レート	110 円	121 円	+ 10.0	115円
	米国子会社 換算レート	106 円	121 円	+ 14.2	116円
1ユーロ		139 円	133 円	4.3	130円

2015年8月7日 業績予想修正

✓ 売上高、損益ともに8月7日発表の業績予想を据え置き。

連結売上高の増減(予想)

(億円)

凡例) 83 77 74

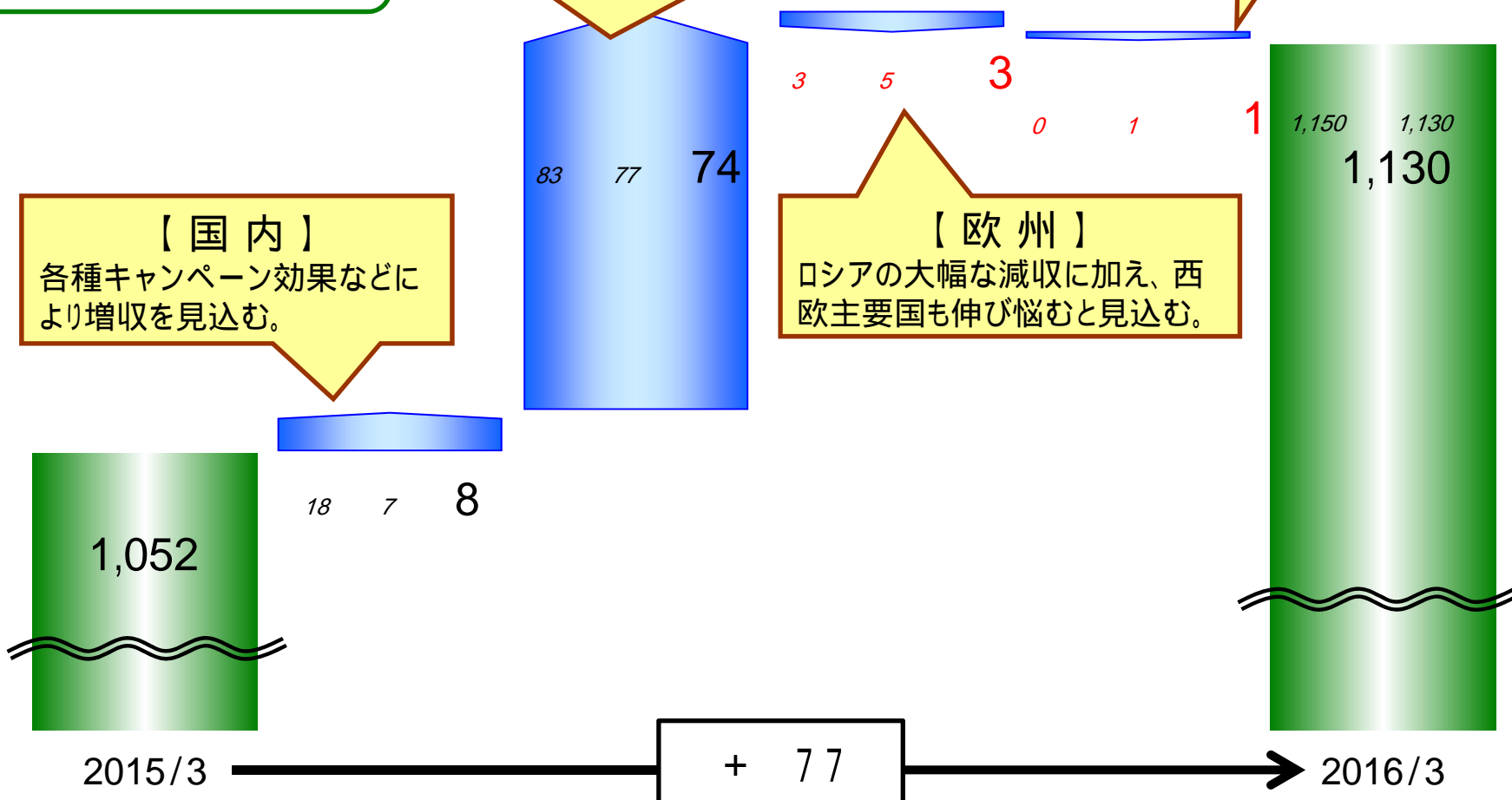
2015年5月8日 業績予想
2015年8月7日 業績予想修正
2015年11月6日 見直し

【米州】
OPEは北米の景気回復や販売促進効果などに加え、円安により大幅な増収を見込む。
農機、産機は第2四半期と同様、厳しい環境が続く見込み。

【その他海外】

【国内】
各種キャンペーン効果などにより増収を見込む。

【欧州】
ロシアの大幅な減収に加え、西欧主要国も伸び悩むと見込む。



連結営業利益の増減(予想)

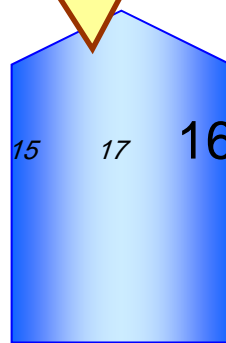
(億円)

凡例) 9 18 20

2015年5月8日 業績予想
2015年8月7日 業績予想修正
2015年11月6日見直し

【未実現利益】

未実現利益の増加幅の減少。



【利益率】

販売価格調整および米国子会社の固定費の見直しなど。



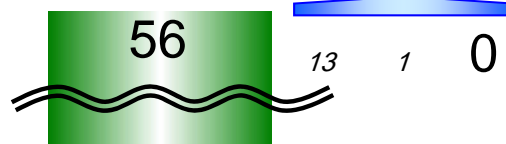
【為替要因】

主に円安ドル高に伴う利益の増加。



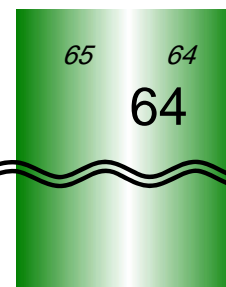
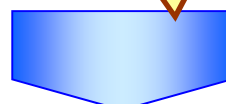
【売上高要因】

実質売上高は前期並み。



【販売管理費】

ベルロボティクス社の追加など。



2015/3

+ 7

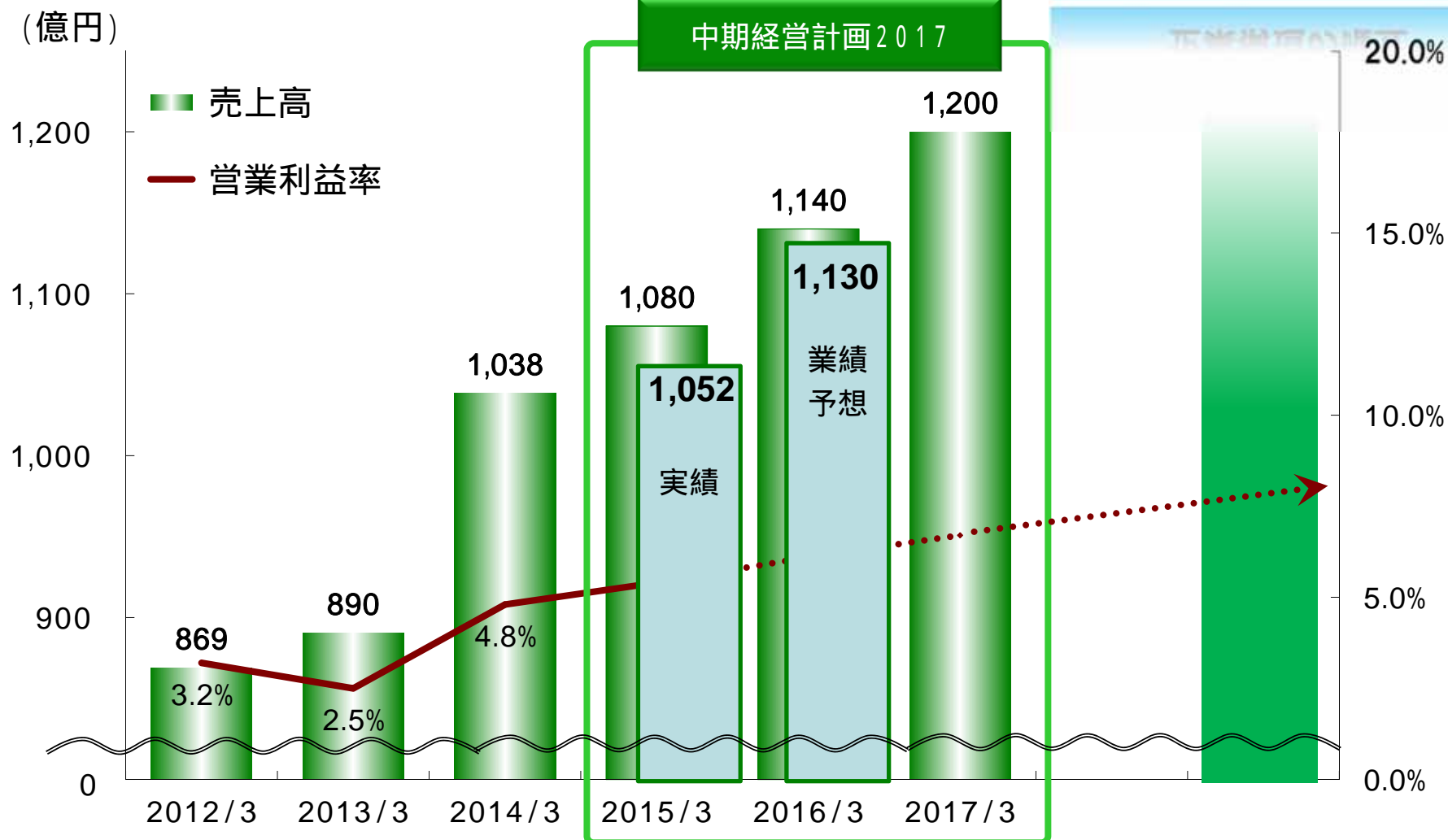
2016/3

中期経営計画2017年次推移



基本三事業の拡大
強固な経営基盤の構築

世界水準の競争力を有する
企業構造の確立



添付資料





株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	105,251百万円 (2015年3月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	3月31日
連 結 子 会 社 数	17社 (国内10社・海外7社 / 2015年3月末現在)
従 業 員 数	2,684名 (2015年3月末現在 / 連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発行済株式総数	11,027,107株 (2015年3月末現在) ^(注)
単 元 株 式 数	100株

(注)2015年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。現在の発行済株式総数は44,108,428株となっております。

	 株式会社 共立	新ダイワ工業株式会社
設立(創業)	1947年(昭和22年)	1952年(昭和27年)
取扱ブランド	  国内の農林業機械 全世界の小型屋外作業機械	 全世界の小型屋外作業機械・一般産業用機械

資本提携以前の小型屋外作業機械（OPE）市場の状況

欧米(特にアメリカ)の排出ガス規制への技術的対応
 グローバルレベルでの業界再編・競争激化
 新興国企業の廉価攻勢
 顧客ニーズの多様化

資本提携・共同持株会社設立・合併までの経緯

- 2007年5月 業務・資本提携基本契約締結
- 2008年12月 共同持株会社『やまびこ』設立
- 2009年10月 『やまびこ』が共立 および 新ダイワ工業 を吸収合併し事業会社化

<社名の由来> 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。



長年にわたる蓄積

技術力・生産能力・ネットワーク



合併シナジー顕在化

ラインナップ・販路の拡大

13カ国・128回におよぶ
サービススクールの実施
(2013/4~2015/3)

充実したテクニカル
サポート体制

鉄めっき・放電加工

独自の生産技術力
一貫生産能力

鋳造 機械加工
めっき 組立

高い製品シェア

例) 小型屋外作業機械(OPE)
世界:約10% / 日本:約30%

3つの事業

ラインナップ
販売ネットワークの拡大

世界92カ国
2万8千店舗

各事業固有の
研究・開発力

米国EPA認証数NO1
エンジン

“グローバル”での“高い競争力”を実現

為替の影響を受けながらも着実に業績向上 / 海外売上高が60%

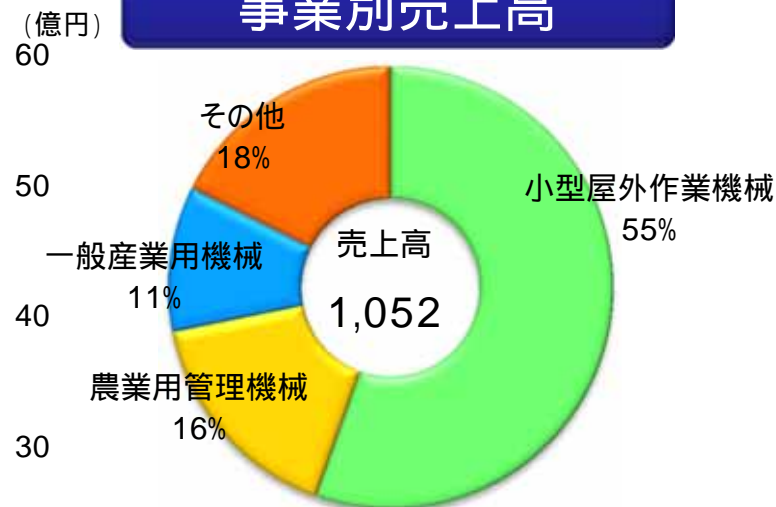
売上高推移



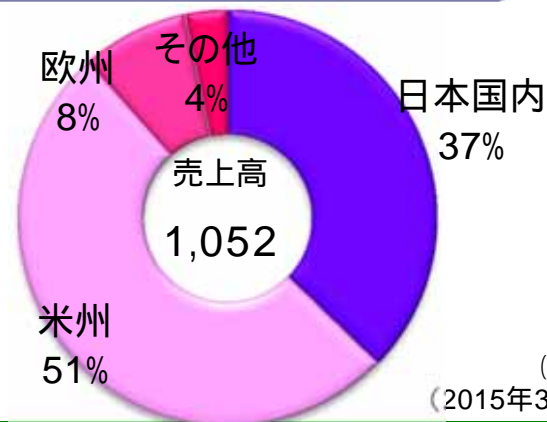
1ドル	88	80	80	100	110
1ユーロ	114	111	109	134	139

(ドルは米国内子会社換算レート)

事業別売上高

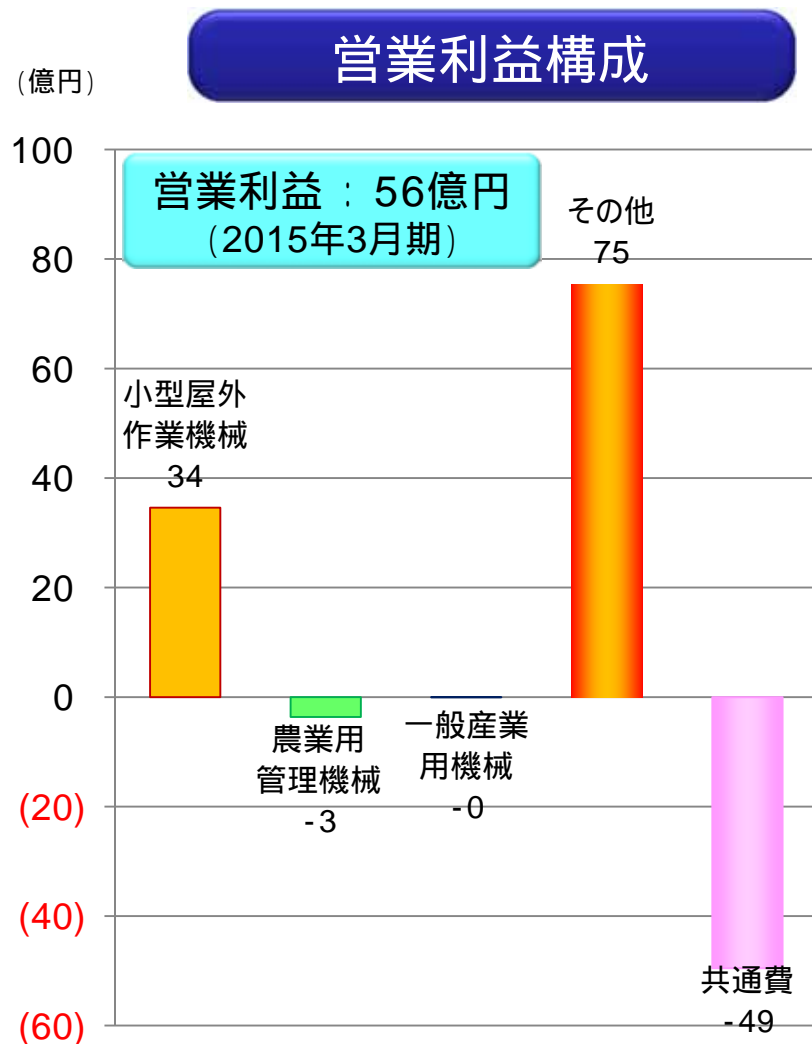


地域別売上割合



(億円)
(2015年3月期)

【その他セグメント（アクセサリー・スペアパーツ）】の収益性



補足資料

セグメントの概要

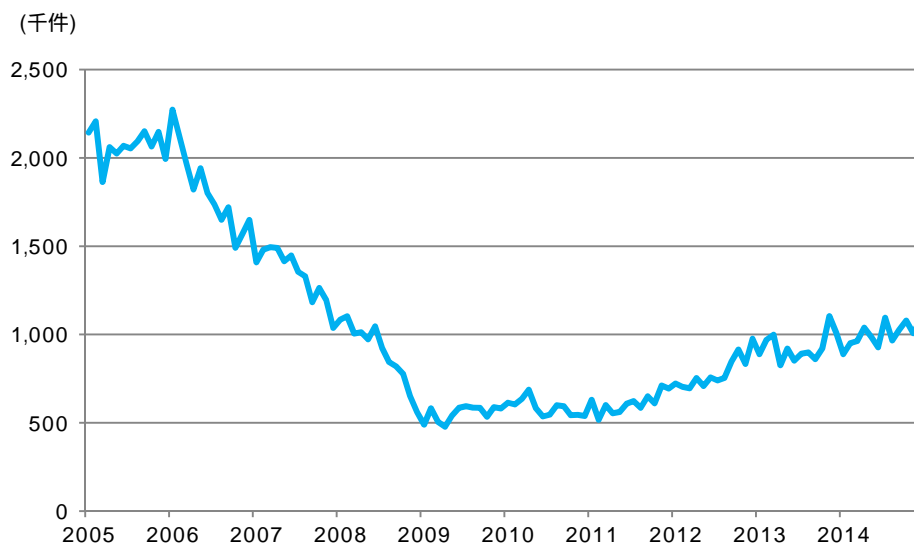
セグメント	事業	概要
小型屋外作業(OPE) ・農業用管理機械	小型屋外作業機械	「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンを搭載した機械の製造販売
	農業用管理機械	国内における防除機械、北米における農作物収穫機械、欧州を中心に展開する自動芝刈機の製造販売
一般産業用機械		建設・土木・鉄工用機械の製造販売
その他		上記機械のアクセサリ、部品の製造販売とアフターメンテナンス

主要製品

セグメント	事業	主要製品
小型屋外作業(OPE) ・農業用管理機械	小型屋外作業機械	刈払機、チェーンソー、パワーブロウ、ヘッジトリマー
	農業用管理機械	防除機(動力噴霧機、スピードスプレーヤ、乗用管理機)、畦草刈機 大豆収穫機、自動芝刈機
一般産業用機械		発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機
その他		部品(アフターメンテナンス)、アクセサリ

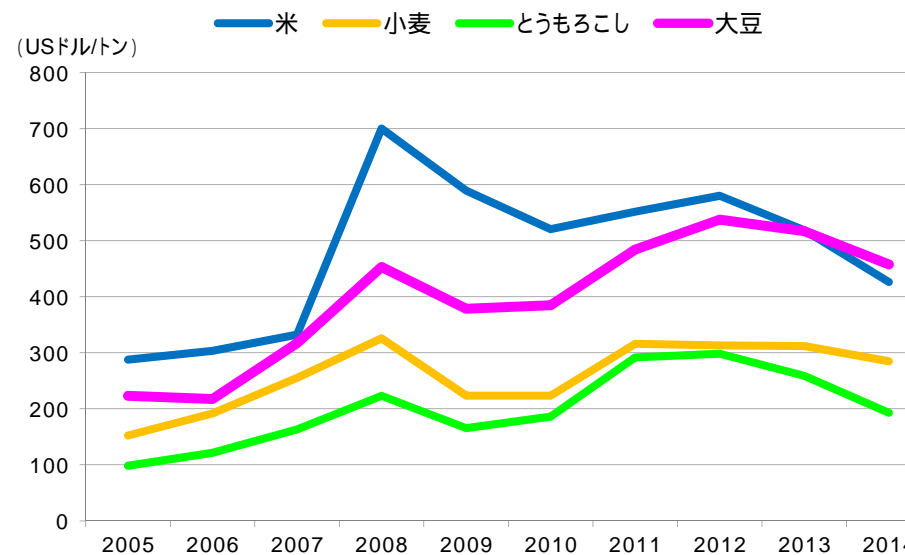
事業	関連指標等
小型屋外作業機械	北米:住宅着工件数 等 南米:穀物価格(大豆、トウモロコシ、コーヒー) 等 露:原油価格 等
農業用管理機械	米国:穀物価格(大豆、トウモロコシ) 等
一般産業用機械	北米:原油価格 等

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

国内市場における関連指標等



事業	関連指標等
小型屋外作業機械	(一社)日本農業機械工業会出荷実績(刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社)日本農業機械工業会出荷実績(防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社)日本陸用内燃機関協会(携帯発電機)、(一社)日本建設機械工業会出荷金額統計(その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注: 会員企業の入退会に伴い、平成26年4月より報告会社数が変更。(防除機: 7社→6社、刈払機: 11社→12社)
(一社)日本農業機械工業会出荷実績



(一社)日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計(3kVA以下)



チェンソー



刈払機



パワーブロワ



ヘッジトリマー

小型エンジンを搭載した小型屋外作業機械

高い開発力
長年にわたるノウハウの蓄積 顧客ニーズにきめ細かに対応可能

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力 (手持機械に最適) 環境対応エンジン認証数 業界NO.1

小型エンジンに必要な技術を保有

2ストローク 2ストローク (層状) 4ストローク (混合) 4ストローク (分離)

当社の強み 販売ネットワーク

2014年実績



世界 92カ国 / 2万8千店の販売ネットワーク

国内



動力噴霧機



乗用管理機



スピードスプレーヤ

海外



大豆収穫機



ジャガイモ収穫機

技術的な強み

国内： 共立の創業時の理念「食糧増産による社会貢献」を礎に長年にわたって蓄積してきた送風技術・噴霧技術・ポンプ技術。

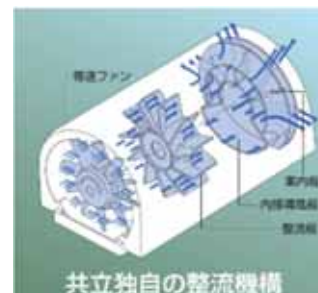
海外： 収穫効率向上のための送風技術(特許)。機器の軽量化・小型化の技術。

やまびこノズルの噴霧状態 (扇形状)
(平均粒径 110 ~ 270 ミクロン)



ドリフトが少ない

農薬飛散を低減させる
やまびこ自社開発ノズル



共立独自の整流機構

効果的な農薬散布を
可能にした整流機構



エンジン溶接機



ディーゼルエンジン発電機



ガソリンエンジン発電機

技術的な強み

新ダイワ工業の創業時から蓄積されたACモータ開発技術を進化・発展させた発電機設計技術・電子制御技術・防音技術。



世界初の三相/単相3線切替なし
同時出力可能 (米国特許・国内
特許取得済み)



防音技術

小型屋外作業機械 (OPE)

開発本部研究開発部

先行技術・要素技術の研究・開発および解析業務

開発本部開発第一部

製品の設計・開発

開発本部開発第二部

電動製品の設計・開発

開発本部実験部

製品の試験

エコー・インコーポレイテッド
(米国)

用途開発・製品実験

開発の重点

グローバルレベルでのエンジン排ガス規制対応
北アメリカでの燃料透過規制対応
ヨーロッパでの騒音および振動規制対応
小型軽量化・低騒音・低燃費・耐久性向上・安全性向上

農業用管理機械

農業機械本部開発部

農業用管理機械
などの設計・開発

クレイリー・インダストリーズ
(米国)
チップーシュレッダー・
大型農業機械などの開発

クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー (米国)
農業用排水管理設機械の開発

ベルロボティクス・エス・エイ (ベルギー)
自動芝刈機の開発

開発の重点

ドリフト対策・適量散布・高性能化・操作性簡便化

一般産業用機械

産業機械本部開発部門
発電機、溶接機などの
設計開発

開発の重点

小型軽量化・低騒音
・高性能・高機能
・低燃費

電子・電気制御

電子制御研究所
電子・電気制御技術の研究

研究の重点

電子制御化

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造(鋳造・金属処理・機械加工・組立等)

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造(機械加工・塗装・組立等)
防除機の製造(板金・塗装・組立等)
防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造(機械加工・組立等)
発電機・溶接機・電動工具の製造(組立等)
発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

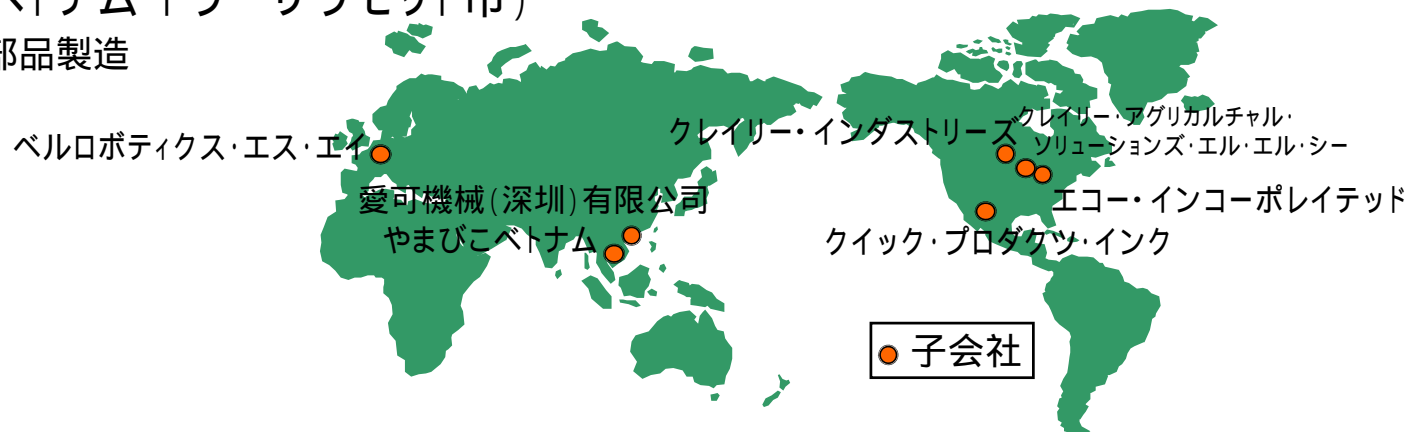
● 生産関連子会社

追浜工業株式会社(横須賀市): 電装部品・歯車
双伸工業株式会社(青梅市): 樹脂部品
株式会社ニューテック(長野市): 鋳造部品
やまびこエンジニアリング株式会社(安芸高田市): 板金加工

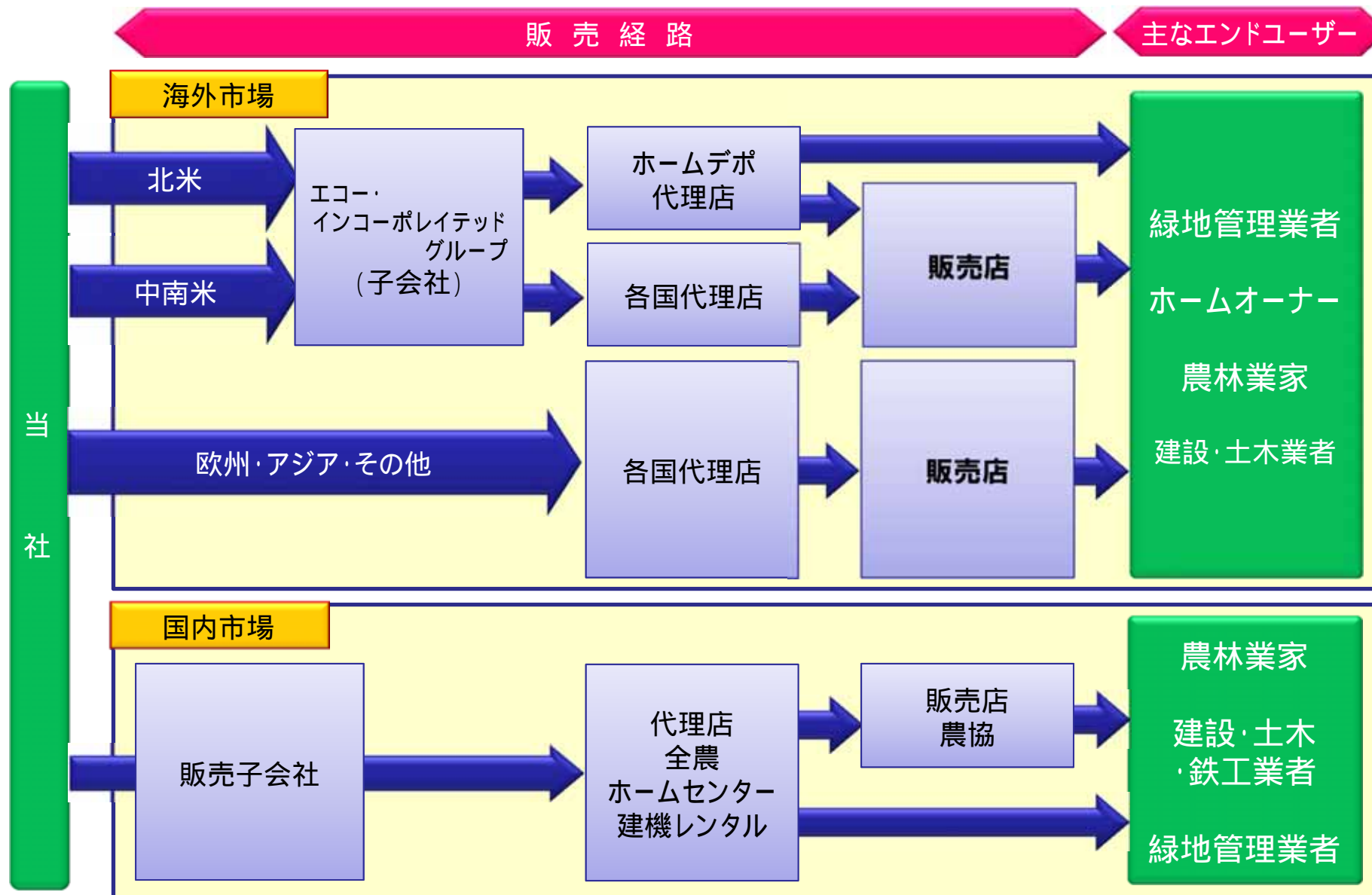


海外生産体制

- エコー・インコーポレイテッド (アメリカ イリノイ州)
小型屋外作業機械の製造 エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- クレイリー・インダストリーズ (アメリカ ノースダコタ州)
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー (アメリカ ミネソタ州)
農業用排水管理設機械の製造
- クイック・プロダクツ・インク (アメリカ アリゾナ州)
当社製品のスペアパーツ等の製造
- ベルロボティクス・エス・エイ (ベルギー ブラバン・ワロン州)
自動芝刈機の製造
- 愛可機械(深圳)有限公司 (中華人民共和国 広東省)
小型屋外作業機械の製造 エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- やまびこベトナム (ベトナム トゥーザウモット市)
一般産業用機械の部品製造



主な販売経路



販売店



主なエンドユーザー

海外市場




海外における販売店ではブランド別に製品を展示。販売員が、エンドユーザーのニーズを聞きながら対面販売。

ホームセンターにおいては各機種群別・価格別に製品を展示。エンドユーザーはニーズや予算およびCM等で得たイメージをもとに購入する。

海外市場

緑地管理業者
ホームオーナー
農林業者
建設・土木業者

国内市場




販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。
販売店と共にエンドユーザーを訪問しユーザーのニーズを捉えたうえで、製品を販売。

国内市場

農林業家
建設・土木
・鉄工業者
緑地管理業者

主なグループ会社の状況



		小型屋外作業機械 (OPE)	農業用管理機械	一般産業用機械
海外	生産 販売	エコー・インコーポレイテッド 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ クレイリー・アグリカルチャル ・ソリューションズ・エル・エル・シー ベルロボティクス・エス・エイ	エコー・インコーポレイテッド
	生産	クイック・プロダクツ・インク		やまびこベトナム
	販売	ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
国内	生産 販売	ニューテック		
	販売	やまびこ北海道 / やまびこ東北 / やまびこ東部 / やまびこ中部 やまびこ西部 / やまびこ九州 / やまびこ産業機械		
	生産	追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式IR課 神田・千原

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir@yamabiko-corp.co.jp